

# 資料 4

## (4) 地域間幹線系統確保維持計画について

### 1 地域間幹線系統確保維持計画

路線名	運行事業者	運行区間	運行距離 (Km)	運行日	日運行回数	輸送人員 (人)		
						H29	H30	R1
菅平高原線	上田バス(株)	上田駅～西菅平 大松	29.2 31.7	毎日運行	18 3	95,867	88,104	91,998
真田線		上田駅～真田	11.9	毎日運行	16	39,091	36,912	40,278
真田自治センター 入口線 (傍陽線)		上田駅～真田自治センター入 口	10.5	平日・土曜のみ運行	30	52,862	49,114	49,231
鹿教湯線	千曲バス(株)	下秋和～鹿教湯車庫 下秋和～丸子	32.4 16.7	毎日運行	25 16	381,468	384,425	368,799
青木線		下秋和～青木	16.4	毎日運行	32	205,835	209,623	210,531
佐久上田線		下秋和～勝間	42.4	平日のみ運行	11	179,074	168,405	144,233
和田峠北線 (長久保線)	JRバス関東(株)	長久保～中央病院前	12	毎日運行	8	12,319	13,909	14,617

### 2 地域間幹線系統車両取得計画

路線名	運行事業者	運行区間	運行距離 (Km)	運行日	日運行回数	輸送人員 (人)		
						H29	H30	R1
鹿教湯線	千曲バス(株)	下秋和～丸子	16.7	毎日運行	16	168,673	164,424	157,755

## 地域間幹線系統別確保維持計画

令和2年5月 日

(住所) 上田市蒼久保 1101-2

(名称) 上田バス株式会社

(代表者名) 遠藤 孝

## 1. 幹線系統名、区間及び計画期間

系統名 : 菅平高原 線  
運行区間 : 上田駅 ~ 西菅平または大松  
計画期間 : 令和2年10月1日~令和5年9月30日

## 2. 幹線系統の運行に係る目的・必要性(生活交通路線である理由・路線の状況)

上田市公共交通活性化協議会において生活交通路線として承認を頂いております菅平高原線(上田駅~西菅平・大松)は、菅平高原、真田地域、真田自治センター、上田駅、高等学校への通学・通勤の交通手段として、車を運転できない高齢者及び学生を中心に必要不可欠な交通として機能している。

しかしながら、人口減少と自家用車の普及により、菅平高原線の公共交通機関利用者は減少を続けておりましたが、平成25年10月からの運賃低減施策により、当該路線はバス利用者が着実に増えていることから、地域住民の通院・通学・買い物を中心とした生活に不可欠な当該路線を存続していくことが必要である。

このため、地域公共交通確保維持事業により、菅平高原線を確保・維持することで、住民の生活交通手段を存続させていく。

## 3. 幹線系統の運行に係る定量的な目標及び効果

## (1) 運行の目標

菅平高原線の地域キロ当たり標準経常費用以内とする。  
輸送量 41.4 人を維持する

## (2) 運行による効果

菅平高原線を維持することにより、住民の日常生活に絶対必要な移動手段を確保することができ、地域の交通ネットワークにおける幹線の役割を維持する。また収支改善に努めることにより計画期間中継続して運行し、公共交通としての役割を担うことができる。

## 4. 3の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

- ・キッズバスの実施(上田市)
- ・運賃低減バス施策(上田市)
- ・季節限定のデコレーションバスの実施(事業者)
- ・上記キッズバスの実施に伴うスタンプラリーイベントの実施(事業者)
- ・回数券を購入されたお客様へのプレゼント実施(真田地域公共交通利用促進協議会)
- ・地域住民向けにバスの乗車体験イベント実施(事業者)
- ・乗務員への安全講習・サービス向上の研修(事業者)

## 5. 費用負担額

補助対象期間	欠損見込額※	負担額			
		国	県	市町村	事業者
R02.10~R03.9	5.費用負担額について 算定根拠となる、国からの地域別標準単価が示されておらず算定できないため、空欄となっております。 本申請の際には、確定数値を入力したものを提出することといたします。				
R03.10~R04.9					
R04.10~R05.9					

※欠損見込額とは、補助対象経常費用の見込額から経常収益の見込額を控除した額

## 6. 収益改善のために行った取組状況

真田地域公共交通利用促進協議会と連携し、地域の利用者の絵画を車内に掲示し利用促進、回数券購入者向けのキャンペーンを年2回行うなどし、バス利用促進活動を行うことができた。また、地元小中学校生対象にバスの乗り方教室を開催し、利用啓発を促した。

## 7. 生産性を向上する取組

### (1) 取組内容

- ・キッズバス施策
- ・運賃低減バス施策
- ・季節限定のデコレーションバスの実施
- ・首都圏の学生に向けた路線バスチラシの配布
- ・定期券・回数券を購入されたお客様へのプレゼントを実施
- ・自社でのバス乗り方教室イベントの実施による利用啓発
- ・乗務員への安全講習・サービス向上の研修

### (2) 実施主体

上田バス株式会社 上田市 真田地域公共交通利用促進協議会
(3) 定量的な効果目標
上記取組を実施することにより、収支率、対前年1%以上の増加を目標とする。
(4) 実施に向けたスケジュール
<p>令和2年10月 定期券・回数券を購入されたお客様へのプレゼントを実施</p> <p>令和2年12月 季節限定のデコレーションバスの実施、首都圏の学生に向けた路線バスチラシの配布、乗務員への安全講習・サービス向上の研修</p> <p>令和2年12月 自社でのバス乗り方教室イベントの実施による利用啓発</p> <p>令和3年3月～4月 定期券・回数券を購入されたお客様へのプレゼントを実施</p> <p>令和3年7月 季節限定のデコレーションバスの実施</p> <p>令和3年7月～8月 キッズバスの実施、乗務員への安全講習・サービス向上の研修</p> <p>通年にて時刻表の無料配布、運賃低減バス施策</p>
(5) 実施時期
上記日程にて実施
(6) その他特記事項

8. 広域行政圏の中心市町村に準ずる市町村であるという相当の理由について
【地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱別表5に定める広域行政圏の中心市町村以外へアクセスする路線の場合に記入】

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 上田市蒼久保 1101-2

(所 属) 上田バス株式会社

(氏 名) 中村 圭介

(電 話) 0268-34-6602

(F A X) 0268-34-6601

(e-mail) k.nakamura@uedabus.co.jp

## 地域間幹線系統別確保維持計画

令和2年5月 日

(住所) 上田市蒼久保 1101-2

(名称) 上田バス株式会社

(代表者名) 遠藤 孝

## 1. 幹線系統名、区間及び計画期間

系統名 : 真田 線  
運行区間 : 上田駅 ~ 真田  
計画期間 : 令和2年10月1日~令和5年9月30日

## 2. 幹線系統の運行に係る目的・必要性(生活交通路線である理由・路線の状況)

上田市公共交通活性化協議会において生活交通路線として承認を頂いております真田線(上田駅~真田)は、真田地域、真田自治センター、上田駅、高等学校への通学・通勤の交通手段として、車を運転できない高齢者及び学生を中心に必要不可欠な交通として機能している。

しかしながら、人口減少と自家用車の普及により、真田線の公共交通機関利用者は減少を続けておりましたが、平成25年10月からの運賃低減施策により、当該路線はバス利用者が着実に増えていることから、地域住民の通院・通学・買い物を中心とした生活に不可欠な当該路線を存続していくことが必要である。

このため、地域公共交通確保維持事業により、真田線を確保・維持することで、住民の生活交通手段を存続させていく。

## 3. 幹線系統の運行に係る定量的な目標及び効果

## (1) 運行の目標

真田線の地域キロ当たり標準経常費用以内とする。  
輸送量 20.6 人を維持する

## (2) 運行による効果

真田線を維持することにより、住民の日常生活に絶対必要な移動手段を確保することができ、地域の交通ネットワークにおける幹線の役割を維持する。また収支改善に努めることにより計画期間中継続して運行し、公共交通としての役割を担うことができる。

## 4. 3の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

- ・キッズパスの実施(上田市)
- ・運賃低減バス施策(上田市)
- ・季節限定のデコレーションバスの実施(事業者)
- ・上記キッズパスの実施に伴うスタンプラリーイベントの実施(事業者)
- ・回数券を購入されたお客様へのプレゼント実施(真田地域公共交通利用促進協議会)
- ・地域住民向けにバスの乗車体験イベント実施(事業者)
- ・乗務員への安全講習・サービス向上の研修(事業者)

## 5. 費用負担額

補助対象期間	欠損見込額※	負担額			
		国	県	市町村	事業者
R02.10~R03.9	5.費用負担額について 算定根拠となる、国からの地域別標準単価が示されておらず算定できないため、空欄となっております。 本申請の際には、確定数値を入力したものを提出することといたします。				
R03.10~R04.9					
R04.10~R05.9					

※欠損見込額とは、補助対象経常費用の見込額から経常収益の見込額を控除した額

## 6. 収益改善のために行った取組状況

真田地域公共交通利用促進協議会と連携し、地域の利用者の絵画を車内に掲示し利用促進、回数券購入者向けのキャンペーンを年2回行うなどし、バス利用促進活動を行うことができた。また、地元小中学校生対象にバスの乗り方教室を開催し、利用啓発を促した。

## 7. 生産性を向上する取組

### (1) 取組内容

- ・キッズバス施策
- ・運賃低減バス施策
- ・季節限定のデコレーションバスの実施
- ・首都圏の学生に向けた路線バスチラシの配布
- ・定期券・回数券を購入されたお客様へのプレゼントを実施
- ・自社でのバス乗り方教室イベントの実施による利用啓発
- ・乗務員への安全講習、サービス向上の研修

### (2) 実施主体

上田バス株式会社 上田市 真田地域公共交通利用促進協議会
(3) 定量的な効果目標
上記取組を実施することにより、収支率、対前年1%以上の増加を目標とする。
(4) 実施に向けたスケジュール
<p>令和2年10月 定期券・回数券を購入されたお客様へのプレゼントを実施</p> <p>令和2年12月 季節限定のデコレーションバスの実施、首都圏の学生に向けた路線バスチラシの配布、乗務員への安全講習・サービス向上の研修</p> <p>令和2年12月 自社でのバス乗り方教室イベントの実施による利用啓発</p> <p>令和3年3月～4月 定期券・回数券を購入されたお客様へのプレゼントを実施</p> <p>令和3年7月 季節限定のデコレーションバスの実施</p> <p>令和3年7月～8月 キッズバスの実施、乗務員への安全講習・サービス向上の研修</p> <p>通年にて時刻表の無料配布、運賃低減バス施策</p>
(5) 実施時期
上記日程にて実施
(6) その他特記事項

8. 広域行政圏の中心市町村に準ずる市町村であるという相当の理由について
【地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱別表5に定める広域行政圏の中心市町村以外へアクセスする路線の場合に記入】

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 上田市蒼久保 1101-2

(所 属) 上田バス株式会社

(氏 名) 中村 圭介

(電 話) 0268-34-6602

(F A X) 0268-34-6601

(e-mail) k.nakamura@uedabus.co.jp

## 地域間幹線系統別確保維持計画

令和2年5月 日

(住所) 上田市蒼久保 1101-2

(名称) 上田バス株式会社

(代表者名) 遠藤 孝

## 1. 幹線系統名、区間及び計画期間

系統名 : 真田自治センター入口 線  
運行区間 : 上田駅 ~真田自治センター入口  
計画期間 : 令和2年10月1日~令和5年9月30日

## 2. 幹線系統の運行に係る目的・必要性(生活交通路線である理由・路線の状況)

上田市公共交通活性化協議会において生活交通路線として承認を頂いております真田自治センター入口線(上田駅~真田自治センター入口)は、真田自治センター、傍陽地域、上田駅、高等学校への通学・通勤の交通手段として、車を運転できない高齢者及び学生を中心に必要不可欠な交通として機能している。

しかしながら、人口減少と自家用車の普及により、真田自治センター入口線の公共交通機関利用者は減少を続けておりましたが、平成25年10月からの運賃低減施策により、当該路線はバス利用者が着実に増えていることから、地域住民の通院・通学・買い物を中心とした生活に不可欠な当該路線を存続していくことが必要である。

このため、地域公共交通確保維持事業により、真田自治センター入口線を確保・維持することで、住民の生活交通手段を存続させていく。

## 3. 幹線系統の運行に係る定量的な目標及び効果

## (1) 運行の目標

真田自治センター入口線の地域キロ当り標準経常費用以内とする。  
輸送量 33.2 人を維持する。

## (2) 運行による効果

真田自治センター入口線を維持することにより、住民の日常生活に絶対必要な移動手段を確保することができ、地域の交通ネットワークにおける幹線の役割を維持する。また収支改善に努めることにより計画期間中継続して運行し、公共交通としての役割を担うことができる。

## 4. 3の目標を達成するために行う事業及びその実施主体



- ・運行ダイヤの時刻改正（事業者）
- ・キッズバスの実施（上田市）
- ・運賃低減バス施策（上田市）
- ・季節限定のデコレーションバスの実施（事業者）
- ・上記キッズバスの実施に伴うスタンプラリーイベントの実施（事業者）
- ・回数券を購入されたお客様へのプレゼント実施（真田地域公共交通利用促進協議会）
- ・地域住民向けにバスの乗車体験イベント実施（事業者）
- ・乗務員への安全講習・サービス向上の研修（事業者）

## 5. 費用負担額

補助対象期間	欠損見込額※	負担額			
		国	県	市町村	事業者
R02. 10～R03. 9	5.費用負担額について 算定根拠となる、国からの地域別標準単価が示されておらず算定できないため、空欄となっております。 本申請の際には、確定数値を入力したものを提出することといたします。				
R03. 10～R04. 9					
R04. 10～R05. 9					

※欠損見込額とは、補助対象経常費用の見込額から経常収益の見込額を控除した額

## 6. 収益改善のために行った取組状況

真田地域公共交通利用促進協議会と連携し、地域の利用者の絵画を車内に掲示し利用促進、回数券購入者向けのキャンペーンを年2回行うなどし、バス利用促進活動を行うことができた。また、地元小学校生対象にバスの乗り方教室を開催し、利用啓発を促した。

## 7. 生産性を向上する取組

### (1) 取組内容

- ・運行ダイヤの時刻改正
- ・キッズバス施策
- ・運賃低減バス施策
- ・季節限定のデコレーションバスの実施
- ・首都圏の学生に向けた路線バスチラシの配布
- ・定期券・回数券を購入されたお客様へのプレゼントを実施
- ・自社でのバス乗り方教室イベントの実施による利用啓発
- ・乗務員への安全講習・サービス向上の研修

### (2) 実施主体

上田バス株式会社 上田市 真田地域公共交通利用促進協議会

(3) 定量的な効果目標

上記取組を実施することにより、収支率、対前年1%以上の増加を目標とする。

(4) 実施に向けたスケジュール

令和2年10月 定期券・回数券を購入されたお客様へのプレゼントを実施  
令和2年12月 季節限定のデコレーションバスの実施、首都圏の学生に向けた路線バスチラシの配布  
令和2年12月 自社でのバス乗り方教室イベントの実施による利用啓発  
令和3年3月～4月 定期券・回数券を購入されたお客様へのプレゼントを実施  
令和3年7月 季節限定のデコレーションバスの実施  
令和3年7月～8月 キッズバスの実施  
通年にて時刻表の無料配布、運賃低減バス施策

(5) 実施時期

上記日程にて実施

(6) その他特記事項

8. 広域行政圏の中心市町村に準ずる市町村であるという相当の理由について

【地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱別表5に定める広域行政圏の中心市町村以外へアクセスする路線の場合に記入】

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 上田市蒼久保 1101-2

(所 属) 上田バス株式会社

(氏 名) 中村 圭介

(電 話) 0268-34-6602

(F A X) 0268-34-6601

(e-mail) k.nakamura@uedabus.co.jp

地域間幹線系統別確保維持計画

令和 2 年 5 月 日

(住所) 長野県佐久市野沢 20 番地  
(名称) 千曲バス株式会社  
(代表者名) 代表取締役 高野 公秀 印

1. 幹線系統名、区間及び計画期間

系 統 名 : 鹿教湯線  
運 行 区 間 : 鹿教湯車庫～下秋和  
計 画 期 間 : 令和 2 年 10 月 1 日～令和 5 年 9 月 30 日

2. 幹線系統の運行に係る目的・必要性 (生活交通路線である理由・路線の状況)

上田市公共交通活性化協議会において生活交通路線として承認を頂いております鹿教湯線(鹿教湯～下秋和)は、鹿教湯病院・丸子中央病院・大屋駅・上田駅・高等学校等への通院・通勤・通学の交通手段として、車を運転できない高齢者及び学生を中心に、生活に必要不可欠な交通として機能している。

しかしながら、人口減少と自家用車の普及により、鹿教湯線の公共交通機関の利用者は減少を続けており、当該路線は収支悪化等により様々な問題を抱えていたが、平成 25 年 10 月からの運賃低減施策により、バス利用者は着実に増えていることから、今後も地域住民の通院・通学・買い物を中心とした生活に不可欠な当該路線を存続していくことが必要である。しかしながら、昨今のバス業界を取り巻く状況において、人員不足や運転手の高齢化といったことが社会問題となっているなか、より効率的な時間編成を行うことも必要とされる。

このため、地域公共交通確保維持事業により効率性を考え、鹿教湯線を確保・維持することで、住民の生活交通手段を存続させていく。

3. 幹線系統の運行に係る定量的な目標及び効果

(1) 運行の目標

鹿教湯線の運行コストを地域キロ当たり標準経常費用以内とする。  
鹿教湯線の輸送量を 50.00 以上で維持する。

(2) 運行による効果

鹿教湯線を維持することにより、上田市の高齢者及び学生等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。また、幹線・支線のネットワークが連携することで、効率的な運行体系が実現できる。さらには、外出を促進させ地域の活性化にもつながる。

#### 4. 3の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

- ・利用実態に即した実用的なダイヤ編成を行う(事業者)
- ・利用促進啓発活動の実施(事業者)
- ・バス車内に期間限定のデコレーションをして利用啓発(事業者)
- ・時刻表の配布(無料配布)(事業者)
- ・回数券・定期券購入のお客様に期間限定のプレゼントキャンペーン(事業者)
- ・キッズパス施策(上田市)
- ・運賃低減バス施策(上田市)

#### 5. 費用負担額

補助対象期間	欠損見込額※	負担額			
		国	県	市町村	事業者
R2.10~R3.9	5.費用負担額について 算定根拠となる、国からの地域別標準単価が示されておらず算定できないため、空欄となっております。 本申請の際には、確定数値を入力したものを提出することといたします。				
R3.10~R4.9					
R4.10~R5.9					

※欠損見込額とは、補助対象経常費用の見込額から経常収益の見込額を控除した額

#### 6. 収益改善のために行った取組状況

- ・バス車内に期間限定のデコレーション
- ・時刻表の配布(無料配布)
- ・利用促進啓発活動の実施
- ・回数券・定期券購入のお客様に期間限定のプレゼントキャンペーン
- ・キッズパス施策
- ・運賃低減バス施策

#### 7. 生産性を向上する取組

##### (1) 取組内容

- ・バス車内に期間限定のデコレーション
- ・時刻表の配布(無料配布)
- ・利用促進啓発活動の実施
- ・回数券・定期券購入のお客様に期間限定のプレゼントキャンペーン
- ・キッズパス施策
- ・運賃低減バス施策

(2) 実施主体
千曲バス株式会社 上田市
(2) 定量的な効果目標
上記取り組みを実施することにより、収支率、対前年比1%以上の増加を目標とする。
(3) 実施に向けたスケジュール
令和2年11月・12月、令和3年4月・8月 車内デコレーション 令和2年11月12月、令和3年2月 プレゼントキャンペーン 令和3年6月・9月 利用促進啓発活動 令和3年7月～8月 キッズパス施策の実施 通年にて時刻表の無料配布、運賃低減バス施策
(4) 実施時期
上記日程にて実施
(5) その他特記事項

#### 8. 広域行政圏の中心市町村に準ずる市町村であるという相当の理由について

【地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱別表5に定める広域行政圏の中心市町村以外へアクセスする路線の場合に記入】

#### 【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 長野県小諸市加増 581-1

(所 属) 千曲バス株式会社

(氏 名) 山崎 康太郎

(電 話) 0267-26-2600

(F A X) 0267-24-2610

(e-mail) eigyo@chikuma-bus.co.jp

## 地域間幹線系統別確保維持計画

令和元年 5 月 日

(住所) 長野県佐久市野沢 20 番地  
(名称) 千曲バス株式会社  
(代表者名) 代表取締役 高野 公秀 印

## 1. 幹線系統名、区間及び計画期間

系 統 名 : 鹿教湯線  
運 行 区 間 : 丸子～下秋和  
計 画 期 間 : 令和元年 10 月 1 日～令和 4 年 9 月 30 日

## 2. 幹線系統の運行に係る目的・必要性（生活交通路線である理由・路線の状況）

上田市公共交通活性化協議会において生活交通路線として承認を頂いております鹿教湯線(丸子～下秋和)は、丸子中央病院・大屋駅・上田駅・高等学校等への通院・通勤・通学の交通手段として、車を運転できない高齢者及び学生を中心に、生活に必要不可欠な交通として機能している。

しかしながら、人口減少と自家用車の普及により、鹿教湯線の公共交通機関の利用者は減少を続けており、当該路線は収支悪化等により様々な問題を抱えていたが、平成 25 年 10 月からの運賃低減施策により、バス利用者は着実に増えていることから、今後も地域住民の通院・通学・買い物を中心とした生活に不可欠な当該路線を存続していくことが必要である。しかしながら、昨今のバス業界を取り巻く状況において、人員不足や運転者の高齢化といったことが社会問題となっているなか、より効率的な時間編成を行うことも必要とされる。

このため、地域公共交通確保維持事業により効率性を考え、鹿教湯線を確保・維持することで、住民の生活交通手段を存続させていく。

## 3. 幹線系統の運行に係る定量的な目標及び効果

## (1) 運行の目標

鹿教湯線の運行コストを地域キロ当たり標準経常費用以内とする。  
鹿教湯線の輸送量を 60.00 以上で維持する。

## (2) 運行による効果

鹿教湯線を維持することにより、上田市の高齢者及び学生等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。また、幹線・支線のネットワークが連携することで、効率的な運行体系が実現できる。さらには、外出を促進させ地域の活性化にもつながる。

#### 4. 3の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

- ・利用実態に即した実用的なダイヤ編成を行う(事業者)
- ・利用促進啓発活動の実施(事業者)
- ・バス車内に期間限定のデコレーションをして利用啓発(事業者)
- ・時刻表の配布(無料配布)(事業者)
- ・回数券・定期券購入のお客様に期間限定のプレゼントキャンペーン(事業者)
- ・キッズパス施策(上田市)
- ・運賃低減バス施策(上田市)

#### 5. 費用負担額

補助対象期間	欠損見込額※	負担額			
		国	県	市町村	事業者
R2.10~R3.9	5.費用負担額について 算定根拠となる、国からの地域別標準単価が示されておらず算定できないため、空欄となっております。 本申請の際には、確定数値を入力したものを提出することといたします。				
R3.10~R4.9					
R4.10~R5.9					

※欠損見込額とは、補助対象経常費用の見込額から経常収益の見込額を控除した額

#### 6. 収益改善のために行った取組状況

- ・バス車内に期間限定のデコレーション
- ・時刻表の配布(無料配布)
- ・利用促進啓発活動の実施
- ・回数券・定期券購入のお客様に期間限定のプレゼントキャンペーン
- ・キッズパス施策
- ・運賃低減バス施策

#### 7. 生産性を向上する取組

##### (1) 取組内容

- ・スマホ定期券の実施
- ・バス車内に期間限定のデコレーション
- ・時刻表の配布(無料配布)
- ・利用促進啓発活動の実施
- ・回数券・定期券購入のお客様に期間限定のプレゼントキャンペーン
- ・キッズパス施策
- ・運賃低減バス施策

(2) 実施主体
千曲バス 上田市
(2) 定量的な効果目標
上記取り組みを実施することにより、収支率、対前年比1%以上の増加を目標とする。
(3) 実施に向けたスケジュール
令和2年11月・12月、令和3年4月・8月 車内デコレーション 令和2年11月12月、令和3年2月 プレゼントキャンペーン 令和3年6月・9月 利用促進啓発活動 令和3年7月～8月 キッズパス施策の実施 通年にて時刻表の無料配布、運賃低減バス施策
(4) 実施時期
上記日程にて実施
(5) その他特記事項

#### 8. 広域行政圏の中心市町村に準ずる市町村であるという相当の理由について

【地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱別表5に定める広域行政圏の中心市町村以外へアクセスする路線の場合に記入】

#### 【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 長野県小諸市加増 581-1

(所 属) 千曲バス株式会社

(氏 名) 山崎 康太郎

(電 話) 0267-26-2600

(F A X) 0267-24-2610

(e-mail) eigyo@chikuma-bus.co.jp



## 地域間幹線系統別確保維持計画

令和2年5月 日

(住所) 長野県佐久市野沢20番地  
(名称) 千曲バス株式会社  
(代表者名) 代表取締役 高野 公秀 印

## 1. 幹線系統名、区間及び計画期間

系 統 名 : 青木線  
運 行 区 間 : 下秋和～青木  
計 画 期 間 : 令和2年10月1日～令和5年9月30日

## 2. 幹線系統の運行に係る目的・必要性（生活交通路線である理由・路線の状況）

上田市公共交通活性化協議会において生活交通路線として承認を頂いております青木線（下秋和～青木）は、上田駅・高等学校・市内の病院等への通院・通勤・通学の交通手段として、車を運転できない高齢者及び学生を中心に、生活に必要不可欠な交通として機能している。

しかしながら、人口減少と自家用車の普及により、青木線の公共交通機関の利用者は減少を続けており、当該路線は収支悪化等により様々な問題を抱えていたが、平成25年10月からの運賃低減施策により、バス利用者は着実に増えていることから、今後も地域住民の通院・通学・買い物を中心とした生活に不可欠な当該路線を存続していくことが必要である。しかしながら、昨今のバス業界を取り巻く状況において、人員不足や運転手の高齢化といったことが社会問題となっているなか、より効率的な時間編成を行うことも必要とされる。

このため、地域公共交通確保維持事業により効率性を考え、青木線を確保・維持することで、住民の生活交通手段を存続させていく。

## 3. 幹線系統の運行に係る定量的な目標及び効果

## (1) 運行の目標

青木線の運行コストを地域キロ当たり標準経常費用以内とする。  
青木線の輸送量を70.00以上で維持する。

## (2) 運行による効果

青木線を維持することにより、上田市の高齢者及び学生等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。また、幹線・支線のネットワークが連携することで、効率的な運行体系が実現できる。さらには、外出を促進させ地域の活性化にもつながる。

## 4. 3の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

- ・利用実態に即した実用的なダイヤ編成を行う(事業者)
- ・利用促進啓発活動の実施(事業者)
- ・バス車内に期間限定のデコレーションをして利用啓発(事業者)
- ・時刻表の配布(無料配布)(事業者)
- ・回数券・定期券購入のお客様に期間限定のプレゼントキャンペーン(事業者)
- ・キッズパス施策(上田市)
- ・運賃低減バス施策(上田市)
- ・貨客混載の取り組み(事業者)

## 5. 費用負担額

補助対象期間	欠損見込額※	負担額			
		国	県	市町村	事業者
R2. 10～R3. 9	5.費用負担額について 算定根拠となる、国からの地域別標準単価が示されておらず算定できないため、空欄となっております。 本申請の際には、確定数値を入力したものを提出することといたします。				
R3. 10～R4. 9					
R4. 10～R5. 9					

※欠損見込額とは、補助対象経常費用の見込額から経常収益の見込額を控除した額

## 6. 収益改善のために行った取組状況

- ・バス車内に期間限定のデコレーション
- ・時刻表の配布(無料配布)
- ・利用促進啓発活動の実施
- ・回数券・定期券購入のお客様に期間限定のプレゼントキャンペーン
- ・キッズパス施策
- ・運賃低減バス施策
- ・貨客混載の取り組み

## 7. 生産性を向上する取組

### (1) 取組内容

- ・バス車内に期間限定のデコレーション
- ・時刻表の配布(無料配布)
- ・利用促進啓発活動の実施
- ・回数券・定期券購入のお客様に期間限定のプレゼントキャンペーン
- ・キッズパス施策
- ・運賃低減バス施策
- ・貨客混載(下秋和車庫～青木ターミナル間 16.4 km、1日2回、1荷物100円)

(2) 実施主体
千曲バス株式会社 上田市 ヤマト運輸株式会社（貨客混載）
(2) 定量的な効果目標
上記取り組みを実施することにより、収支率、対前年比1%以上の増加を目標とする。
(3) 実施に向けたスケジュール
令和2年11月・12月、令和3年4月・8月 車内デコレーション 令和2年11月12月、令和3年2月 プレゼントキャンペーン 令和3年6月・9月 利用促進啓発活動 令和3年7月～8月 キッズパス施策の実施 通年にて時刻表の無料配布、運賃低減バス施策
(4) 実施時期
上記日程にて実施
(5) その他特記事項

#### 8. 広域行政圏の中心市町村に準ずる市町村であるという相当の理由について

【地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱別表5に定める広域行政圏の中心市町村以外へアクセスする路線の場合に記入】

#### 【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 長野県小諸市加増 581-1

(所 属) 千曲バス株式会社

(氏 名) 山崎 康太郎

(電 話) 0267-26-2600

(F A X) 0267-24-2610

(e-mail) eigyo@chikuma-bus.co.jp

## 地域間幹線系統別確保維持計画

令和2年5月 日

(住所) 長野県佐久市野沢20番地  
(名称) 千曲バス株式会社  
(代表者名) 代表取締役 高野 公秀 印

## 1. 幹線系統名、区間及び計画期間

系統名 : 佐久上田線  
運行区間 : 勝間～下秋和  
計画期間 : 令和2年10月1日～令和5年9月30日

## 2. 幹線系統の運行に係る目的・必要性（生活交通路線である理由・路線の状況）

上田市公共交通活性化協議会において生活交通路線として承認を頂いております佐久上田線（勝間～下秋和）は、佐久総合病院・佐久医療センター・浅間南麓こもろ医療センター・佐久平駅・上田駅・高等学校等への通院・通勤・通学の交通手段として、車を運転できない高齢者及び学生を中心に、生活に必要不可欠な交通として機能している。

しかしながら、人口減少と自家用車の普及により、佐久上田線の公共交通機関の利用者は減少を続けており、当該路線は収支悪化等により自主運行では路線の存続が厳しい現状となっております。また、昨今のバス業界を取り巻く状況において、人員不足や運転者の高齢化といったことが社会問題となっているなか、より効率的な時間編成を行うことも必要とされる。

地域住民の通院・通学・買い物を中心とした生活に不可欠な当該路線を存続していくためには、平日1日当たりの運行回数が3.0回以上の系統として輸送量を確保するとともに、行政の支援を受けながら運行し、利用客の増加をめざしていくことが必要となる。

## 3. 幹線系統の運行に係る定量的な目標及び効果

## (1) 運行の目標

佐久上田線の運行コストを地域キロ当たり標準経常費用以内とする。  
佐久上田線の輸送量を15.00以上で維持する。

## (2) 運行による効果

佐久上田線を維持することにより、上田市の高齢者及び学生等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。また、幹線・支線のネットワークが連携することで、効率的な運行体系が実現できる。さらには、外出を促進させ地域の活性化にもつながる。

#### 4. 3の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

- ・ 利用実態に即した実用的なダイヤ編成を行う(事業者)
- ・ 利用促進啓発活動の実施(事業者)
- ・ バス車内に期間限定のデコレーションをして利用啓発(事業者)
- ・ 時刻表の配布(無料配布)(事業者)
- ・ 回数券・定期券購入のお客様に期間限定のプレゼントキャンペーン(事業者)
- ・ キッズパス施策(上田市)
- ・ 市内運賃低減バス施策(上田市)

#### 5. 費用負担額

補助対象期間	欠損見込額※	負担額			
		国	県	市町村	事業者
R2. 10~R3. 9	5.費用負担額について 算定根拠となる、国からの地域別標準単価が示されておらず算定できないため、空欄となっております。 本申請の際には、確定数値を入力したものを提出することといたします。				
R3. 10~R4. 9					
R4. 10~R5. 9					

※欠損見込額とは、補助対象経常費用の見込額から経常収益の見込額を控除した額

#### 6. 収益改善のために行った取組状況

- ・ バス車内に期間限定のデコレーション
- ・ 時刻表の配布(無料配布)
- ・ 利用促進啓発活動の実施
- ・ 回数券・定期券購入のお客様に期間限定のプレゼントキャンペーン
- ・ 運行システムの整理及び沿線4市による欠損金の支援
- ・ キッズパス施策
- ・ 運賃低減バス施策

#### 7. 生産性を向上する取組

##### (1) 取組内容

- ・ バス車内に期間限定のデコレーション
- ・ 時刻表の配布(無料配布)
- ・ 利用促進啓発活動の実施
- ・ 回数券・定期券購入のお客様に期間限定のプレゼントキャンペーン
- ・ キッズパス施策
- ・ 運賃低減バス施策

(2) 実施主体
千曲バス株式会社 上田市
(2) 定量的な効果目標
上記取り組みを実施することにより、収支率、対前年比1%以上の増加を目標とする。
(3) 実施に向けたスケジュール
令和2年11月・12月、令和3年4月・8月 車内デコレーション 令和2年11月12月、令和3年2月 プレゼントキャンペーン 令和3年6月・9月 利用促進啓発活動 令和3年7月～8月 キッズバス施策の実施 通年にて時刻表の無料配布、運賃低減バス施策
(4) 実施時期
上記日程にて実施
(5) その他特記事項

#### 8. 広域行政圏の中心市町村に準ずる市町村であるという相当の理由について

【地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱別表5に定める広域行政圏の中心市町村以外へアクセスする路線の場合に記入】

#### 【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 長野県小諸市加増 581-1

(所 属) 千曲バス株式会社

(氏 名) 山崎 康太郎

(電 話) 0267-26-2600

(F A X) 0267-24-2610

(e-mail) eigyo@chikuma-bus.co.jp

地域間幹線系統別確保維持計画

令和 年 月 日

(住所) 東京都渋谷区代々木二丁目2番2号

(名称) ジェイアールバス関東株式会社

(代表者名) 中 村 泰 之

印

1. 幹線系統名、区間及び計画期間

系 統 名 : 和田峠北線

運 行 区 間 : 長久保～中央病院前

計 画 期 間 : 令和2年10月1日～令和3年9月30日

2. 幹線系統の運行に係る目的・必要性（生活交通路線である理由・路線の状況）

- (1) 長和町・上田市のバス沿線住民を中心とした上田市内の高校への通学のための移動手段
- (2) 長和町・上田市のバス沿線住民を中心とした上田市内への医療機関（総合病院など）の通院のための移動手段
- (3) 長和町・上田市のバス沿線住民を中心とした上田市内への商業施設（買い物などの生活用品）利用のための移動手段

3. 幹線系統の運行に係る定量的な目標及び効果

(1) 運行の目標

生活路線として、利用する者に継続的な運行を維持提供するためニーズに即した運行形態を模索し、輸送量及び収入の目標達成を図る。

また、効率的な運行方法と利便性の両立を目指し、持続可能な交通体系を確立する。

(2) 運行による効果

長和町唯一の交通機関として、高齢者に対する病院への移動手段の維持確保、並びに学生の通学利用の足として地域の生活を支える。

4. 3の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

長和町及び上田市の地域公共交通会議とJRバス関東が主体となり、両地域とのコミュニティバスとの連携し利便性の向上を図る。

5. 費用負担額					
補助対象期間	欠損見込額※	負担額			
		国	県	市町村	事業者
R1. 10～R2. 9	5.費用負担額について 算定根拠となる、国からの地域別標準単価が示されておらず算定できないため、空欄となっております。 本申請の際には、確定数値を入力したものを提出することといたします。				
R2. 10～R3. 9					
R3. 10～R4. 9					

※欠損見込額とは、補助対象経常費用の見込額から経常収益の見込額を控除した額

6. 収益改善のために行った取組状況

7. 生産性を向上する取組
(1) 取組内容
長和町全世帯の町民にバス時刻表を配布する。
(2) 実施主体
長和町・JR バス関東
(3) 定量的な効果目標（収支改善率1%以上を原則）
上記の取り組みを実施することにより収支率を対前年1%以上の改善。
(4) 実施に向けたスケジュール
令和2年10月～計画策定に向け随時協議を行う。



(5) 実施時期
令和2年10月以降通年
(6) その他特記事項

<b>8. 広域行政圏の中心市町村に準ずる市町村であるという相当の理由について</b>
【地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱別表5に定める広域行政圏の中心市町村以外へアクセスする路線の場合に記入】

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 小諸市与良町 3-1-3  
(所 属) 小諸支店  
(氏 名) 内藤 貞義  
(電 話) 0267-22-0588  
(F A X) 0267-23-9518  
(e-mail) komoro@jrbuskanto.co.jp

## 地域間幹線系統車両取得計画（公有民営用）

令和2年5月 日

(住所) 長野県佐久市野沢20番地  
(名称) 千曲バス株式会社  
(代表者名) 代表取締役 高野 公秀

## 1. 新規車両の導入を予定する幹線系統名、区間及び導入予定年月

系 統 名 : 鹿教湯線  
運 行 区 間 : 丸子～下秋和  
導入予定年月 : 令和4年1月

## 2. 車両の取得に係る目的・必要性

鹿教湯線での利用が、通院・通学・通勤をされるお客様がいるなかで、高齢者及び体の不自由な方の利用が多くなってきている。また、車両の老朽化も進んでいるため、高齢者や体の不自由な方にも利用しやすい低床型（ノンステップ・スロープ付き）の車両を購入して、利用者のサービスを向上するとともに事業収益の改善を図りたい。

## 3. 車両の取得に係る定量的な目標及び効果

## (1) 新規車両導入に係る目標

鹿教湯線の輸送量 60.00 以上を維持する。  
運行車両燃費を 1ℓ あたり 4 km以上とする。

## (2) 新規車両導入に係る効果

高齢者や障がい者にとって乗りやすい車両になり、利便性・安全性が向上する。

## 4. 入替予定車両の状況

メーカー：三菱フソウ  
乗車定員：57人  
登録番号：長野22 あ 2355  
登録年度（車令）：平成11年2月  
修繕費（前年度実績）：354,000円

## 5. 新規導入車両を活用した利用促進策

新車導入により利用者の利便性・快適性の向上

## 【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 長野県小諸市加増 581-1

(所 属) 千曲バス株式会社

(氏 名) 山崎 康太郎

(電 話) 0267-26-2600

(F A X) 0267-24-2610

(e-mail) eigyo@chikuma-bus.co.jp